



令和4年8月1日
ちとせ山ゆり保育園

本格的な夏です。たくさん汗をかくと体力を消耗します。食欲も落ちやすい季節ですが、たくさん食べてしっかりと休息をとり、体調の変化に気をつけながら、元気に夏を楽しみましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ほうができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

先月は乳児クラスに発熱や咳の症状の子どもが多く見られました。川崎市の報告によると、夏に多い感染症が増加しています。また、RSウイルス感染症も増加傾向にあるようです。夏風邪は、どれも特効薬はありません。休むことが一番の薬です。しっかり休んで回復させる方が、ぶり返しにくく、長引きません。

8月の予定

○25日(木) 園医健診(2、3歳)

○月初めに身体測定を行います。



7月の健康教育

幼児クラス子どもたちに「熱中症(暑い日のお約束)」のお話をしました。日頃からご家庭で、帽子や水分補給に気をつけている様子が子どもたちから伝わってきました。食事や睡眠、規則正しい生活を送ることも熱中症予防につながります。また、暑さに体を慣らすことも大切です。暑さ対策をしっかりして、暑い夏を乗り切りましょう。